

第3・4学年 算数科学習指導案

日 時 令和7年6月13日(金)5校時
対象者 3年生2人・4年生1人 計3人
指導者

- | 単元名 第3学年 「たし算とひき算(3けたの筆算のしかたを考えよう)」
第4学年 「1けたでわるわり算(筆算のしかたを考えよう)」

2 単元目標

学年	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
第3学年 「たし算とひき算」	3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたや、加法や減法の計算が、2位数などの基本的な計算をもとにできることなどを理解し、3位数や4位数の加法及び減法の計算が筆算ができる。	(2位数)±(2位数)の計算のしかたをもとに類推するなどして、3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを考える力を養う。	3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを、既習事項を活用して考えようとする態度を養う。
第4学年 「1けたでわるわり算」	(2, 3位数)÷(1位数)の除法について、筆算の仕組みや被除数・除数・商・余りの関係を理解し、計算のしかたについてわかりやすく説明できる。	既習の計算のしかたをもとに、(2, 3位数)÷(1位数)の計算のしかたを考える力を養う。	除法の筆算形式のよさに気づき、進んで筆算しようとする態度を養う。

3 本時の実際

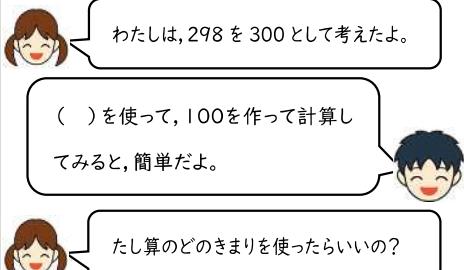
(第3学年)

- (1) 本時のねらい (11/13)
ア 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、計算の工夫をすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
イ 加法の交換法則や結合法則を活用して、計算の工夫をすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- (2) 指導上の留意点
ア 話し合い、考える場面では、家庭学習で取り組んできた内容を話し合う時間を十分に取り、自分たちで課題を解決できるようにする。
イ 本時のまとめの場面では、分かったことやできたことを互いに発表しあい、学習内容の定着を図るようにする。
ウ 学習問題をたてる場面では、教科書の課題を元に、次時への活動への見通しをもてるようとする。

(第4学年)

- (1) 本時のねらい (6/9)
ア 既習事項を生かし、(3位数)÷(1位数)の筆算のしかたを理解することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- (2) 指導上の留意点
ア 学習問題をたてる場面では、ロイロノートの学習計画をもとに、自分で学習問題をたて、本時の見通しをもてるようとする。
イ 話し合い、考える場面では、自分の考えをまとめ、教科書の動画を見ながら筆算の仕方を確認し、教科書との対話の時間を取りようとする。
ウ 本時のまとめの場面では、内容の定着を図るために自分の言葉でまとめを書き上げさせる。

(3) 実際 ○指導上の留意点

指導上の留意点など	主な学習活動（第3学年）	位置時間	主な学習活動（第4学年）	指導上の留意点など
<ul style="list-style-type: none"> ○ 反転学習のよさを生かし、課題の解決に向けて十分な時間を確保するために、学習問題は簡潔に確認する。 ○ 問題の解決を図るために、反転学習で調べたことを話し合う活動を行う。 ○ 話合い活動をスムーズに行うために、状況に合わせて助言を入れたり、話合い活動に加わったりする。 ○ 学習課題の定着を図るために、どのきまりを使うと計算の工夫ができるか、教児と一緒に確認をする。 ○ 自分のペースで進めることができるように、ロイロノートに練習問題を用意する。 ○ 次時の学習がスムーズに行えるように、次時の課題を把握させる。活動の見通しをもつことができたら、自分の考えをノートに書くようにする。（以後続きを読むは、家庭学習で行うようにする。） 	<p>1 本時の学習問題の確認をする。 筆算を使わないで計算するには、どうすればよいだろう。</p> <p>2 解決方法について話し合う。</p>  <p>わたしは、298を300として考えたよ。 （）を使って、100を作り計算してみると、簡単だよ。</p> <p>たし算のどのきまりを使ったらいいの？</p> <p>3 本時のまとめをする。 くふうをして計算すると、計算がしやすくなる。</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>5 練習問題に取り組む。</p> <p>6 次時の学習課題と学習問題について確認する。 あん算をするときは、どんなふうをすればよいだろう。</p>	<p>15 5 5 8 2 10 10 10</p>	<p>1 本時の学習課題を確認する。 色紙が639まいあります。3つの組で同じ数ずつに分けると、一組分は何まいになりますか。</p> <p>2 本時の学習問題をたてる。 わられる数が3けたの計算は、どうすればよいだろう。</p> <p>3 $536 \div 4$ の解決方法について考える。 筆算ができるかな？やってみよう。</p> <p>4 動画と自分の解決方法を比較する。 教科書のやり方と同じだった！</p> <p>5 本時のまとめをする。 わられる数が3けたのわり算もこれまでと同じように筆算をして計算することができる。</p> <p>6 本時の振り返りをする。</p> <p>7 練習問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題を確認できるように、ロイロノートに学習計画を準備する。 ○ 学習者主体の学習となるように、自分でできるところまで一人で活動をさせ、必要に応じて助言をする。 ○ 筆算の仕方を説明できるように、たてる カける ひく おろすカードをいつでも使用できように準備しておく。 ○ 自分の筆算方法と比較できるように、デジタル教科書の動画を用意する。 ○ 自分の言葉で、本時のまとめを書き上げるようにする。学習課題の定着を図るために、一緒に教科書で確認をする。 ○ 定着を図るために、自分で答え合わせをして、やり直しまで取り組ませる。時間に余裕がある場合は、補充問題をするか、次時の学習課題に取り組むか自分で選択をして学習できるようにする。